

たりはた つじかわ つじかわ  
**多り畑遺跡・辻川1号墳・辻川遺跡**

所在地 豊橋市石巻町字札辻、石巻本町字太田前・辻川  
 (北緯34度47分43秒 東経137度26分19秒)  
 調査理由 主要地方道東三河環状線道路改良事業  
 調査期間 平成21年5月  
 調査面積 100㎡  
 担当者 松田 訓・早野浩二

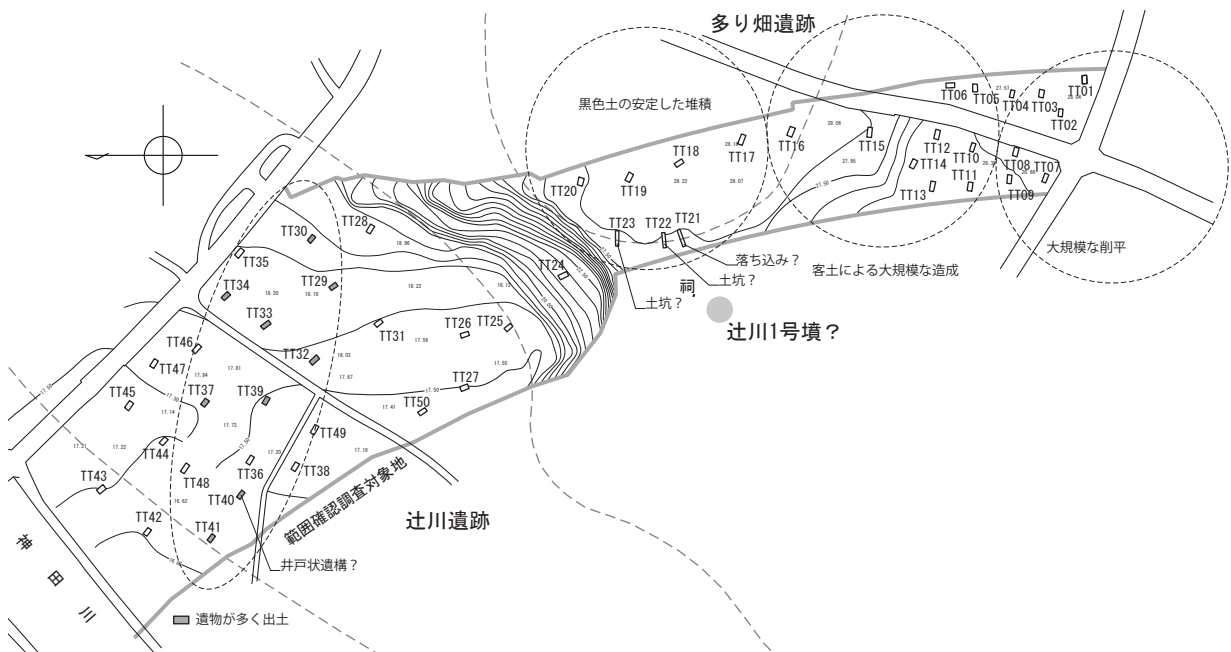


調査地点(1/2.5万「豊橋」)

調査の経過 範囲確認調査は、主要地方道東三河環状線道路改良事業にかかる事前調査で、愛知県建設部道路建設課より愛知県教育委員会を通じた委託事業として実施した。調査期間は平成21年5月、調査面積は100㎡である。

立地と環境 多り畑遺跡は、神田川左岸の段丘上、辻川遺跡は神田川に面した低地に立地する。段丘端には辻川1号墳(径7m、高さ1mの円墳)が立地するとされるが、現在、その確認は難しい。多り畑遺跡は、石巻神郷地区圃場整備事業に伴い、神郷地区遺跡調査会によって、A地点60㎡、B地点195㎡の発掘調査が実施され、A地点においては縄文時代後期、B地点においては古墳時代後期の遺構と遺物が確認されている。また、辻川遺跡は古代・中世・近世の遺物散布地とされている。

調査の概要 試掘坑は、多り畑遺跡と辻川1号墳が立地する段丘上にTT01～TT23、辻川遺跡が立地する段丘下にTT24～TT50をそれぞれ設定し、遺構・遺物の有無等を確認した。多り畑遺跡については、TT17以北に黒色土の安定した堆積と土坑状の落ち込み等を確認したが、黒色土中に遺物は包含されていなかった。TT16以南、TT05・TT10・TT11以北は、谷地形が客土によって造成され、TT04・TT09以南は、微高地が削平されていた。辻川遺跡については、井戸状遺構が確認されたTT40を中心として、各時代、一定量の遺物が出土したが、河川の氾濫、近年の造成によって、良好な包含状況を保ってはいなかった。(早野浩二)



試掘坑配置図